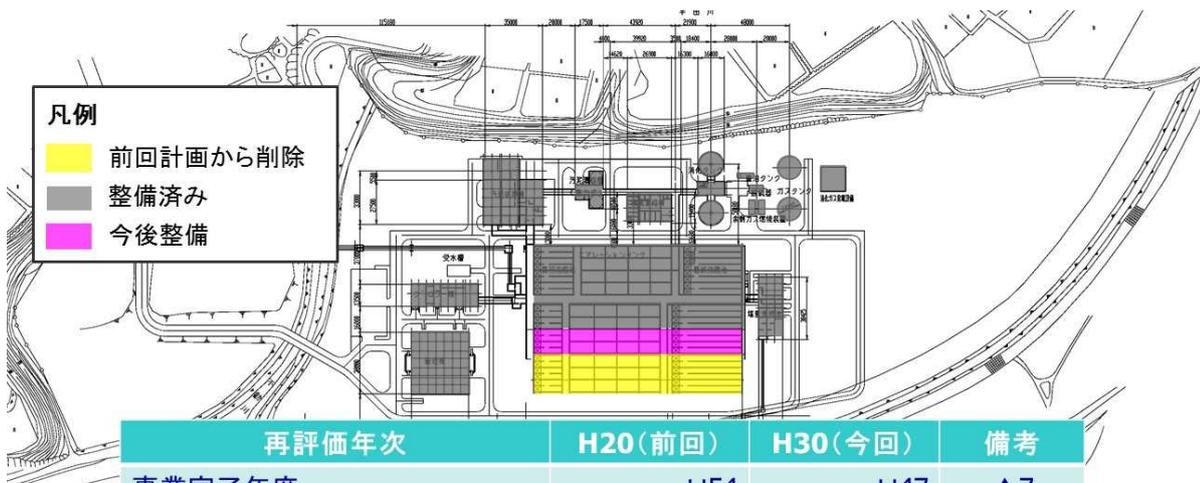
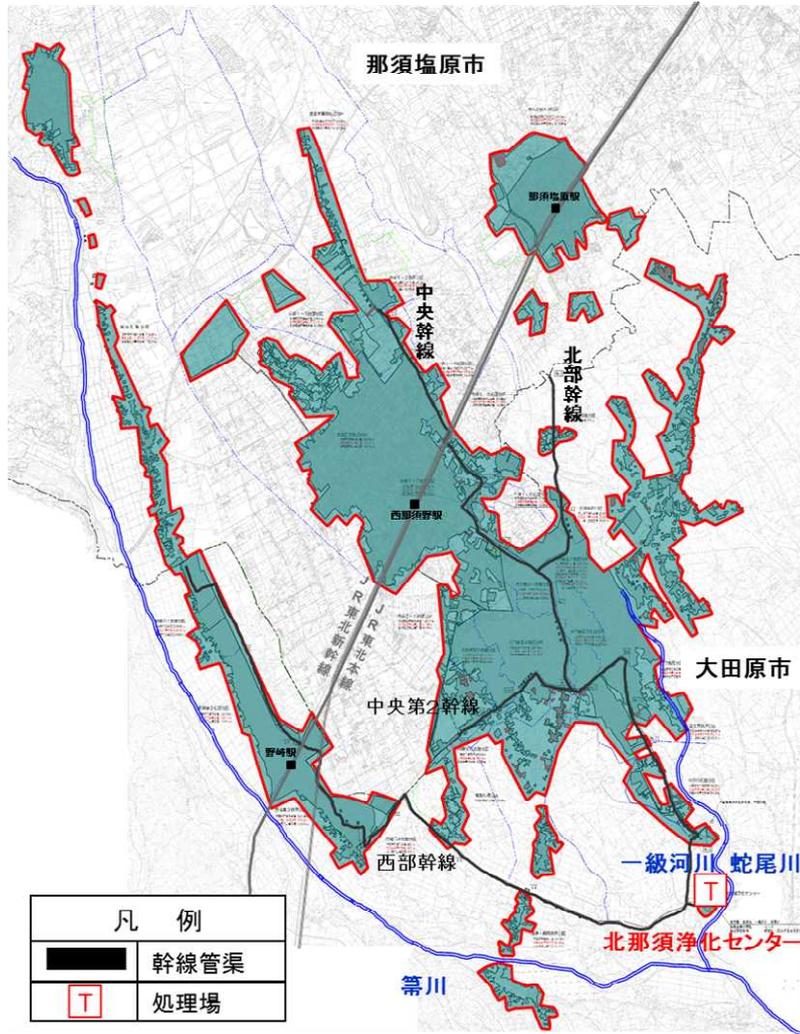


下水道事業の再評価概要書

() は、前回再評価時

下水道事業の再評価概要書			番 号	8
			事業主体	栃 木 県
事業名	流域下水道づくり事業		事業所管課	県土整備部 都市整備課
流域名及び処理区名	北那須流域下水道		事業箇所名	大田原市、那須塩原市
計画処理面積及び計画処理人口	3,463 (3,638) ha 83,930 (101,730) 人		計画処理能力	45,600(62,700) m ³ /日 (日最大)
			水処理施設数	8 (11) 池
S53年度事業化	S53年度都市計画決定		S53年度用地着手	S53年度工事着手
事業期間	S53～H47 (H54)	事業進捗状況	基準年次：【H30年度末時点】	
[うち用地補償費]	[2.3 億円]		進捗率	
全体事業費	263.5 (271.5) 億円		(うち用地補償費) [2.3 億円]	[100%]
			既投資事業費	244.1 億円 93%
事業概要				
大田原市、那須塩原市の一部で構成される当地域は、JR宇都宮線、東北新幹線、国道4号、東北自動車道等の交通網の整備とともに都市化が進んでおり、昭和58年度から供用を開始している。				
事業計画については、前回再評価時から、人口減少や節水型トイレの普及等により計画処理能力を見直し、併せて事業規模を縮小した。今後も、上記計画に基づき、引き続き生活環境の改善や水質保全を図っていく。				
事業を巡る社会経済情勢の急激な変化、技術革新、事業計画の大幅な変更 等				
人口減少に伴う計画処理人口及び計画処理面積の縮小 → 事業完了年度、計画処理能力の見直し及び水処理施設数の縮小				
		再評価年次	H20 (前回)	H30 (今回)
		○事業完了年度	H54 まで	H47 まで
		○計画処理能力	62,700 m ³ /日	45,600 m ³ /日
		○水処理施設	11 池	8 池
事業の投資効果				
① 費用対効果分析結果				
		【総便益 (B)】	【総費用 (C)】	
1) 事業全体	B/C= 2.2	2,943.7 億円	1,358.9 億円	
2) 残事業	B/C= 3.4	289.8 億円	84.9 億円	
② 事業の整備効果等				
整備を図ることにより、生活環境の改善と公共用水域の水質保全が図られる。				
事業の進捗状況等				
① 事業の進捗状況				
施設設置に伴う用地買収は全て完了している。				
幹線管渠の整備はすべて完了している。				
処理場は、計画処理能力 45,600[m ³ /日]に対し 34,200[m ³ /日] (75%) が完了している。				
② 今後の事業進捗の見込み				
今後の事業については、流域関連公共下水道の進捗を合わせながら計画的に整備が進められる見込みである。				
コスト縮減等				
① コスト縮減方策				
関連市町の整備の進捗に合わせ、適切な時期に施設整備や設備の更新を行うことにより、ライフサイクルコストを低減するよう努める				
② 代替案立案等の可能性				
用地は既に取得しており、幹線管渠は整備済であるので本計画が最適である。				
事業の対応方針 (案)		本計画で事業を継続する。		

事業箇所（位置図・概要図）



再評価年次	H20(前回)	H30(今回)	備考
事業完了年度	H54	H47	▲7
計画処理面積(ha)	3,638	3,463	▲175
計画処理人口(人)	101,730	83,930	▲17,800
計画処理能力(日最大)(m ³ /日)	62,700	45,600	▲17,100
水処理施設数(池)	11	8	▲3